科目名	デッサン４							年度	2026
英語科目名	Drawing 4							学期	後期
学科・学年	CG映像科 ２年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	齋藤、鮫島、榊原	教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家、大学講師、予備校講師		

【科目の目的】

CGデザイナーにとって重要な観察力・造形力を養います。
様々な現象・自然物・人工物を観察し客観的に把握・表現する力、三次元空間・立体感を表現する力をデッサンを通じて身につけることを目的とします。

【科目の概要】

1年次の授業を発展させ、より複雑なモチーフや条件の課題内容が含まれます。
観察力・表現力を養うために、教室内にセットしたモチーフや配布されたモチーフを主に鉛筆でデッサンします。
さまざまな形態や質感を持つ工業製品や自然物、石膏像やモデルや自分自身の体もモチーフになります。
１枚の作品を2週～3週で制作することで、作品の計画・表現・検証・仕上げのプロセスを繰り返し体感します。

【到達目標】

目の前のモチーフを描くことで、透視図法をはじめとする遠近法を理解し、2次元の画面に3次元空間の拡がりを空間的・立体的に表現すること。
モチーフの持つ構造・プロポーション・質感などをよく観察し迫力を持って客観的に表現すること、クロッキーを繰り返して人体の構造や動きを理解することで、モデリングやアニメーションをはじめとするCG制作に役立てること。

【授業の注意点】

この授業では、実際に描いて経験し、デッサンを自分の感覚の中に取り込むことを重視します。描き、モチーフと比較検証し、より対象に近づくように修正しながら描くという姿勢が大切です。
また、成果を上げるには常により良い作品にしようという意欲を持つこと、独りよがりにならず客観的な視点を持つことが重要です。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A 「制作意欲と自主性」	課題に対して、常に意欲を持って取り組んでいる。教室内の制作環境にも気を配っている。	課題に対して考察している。用具の準備が出来ている。周囲の制作環境を意識出来る。	課題について、考察が足りない。用具の準備が不充分な時がある。制作環境に気を使わない。	モチーフや課題に対して、理解しない。自主的に描こうとしない。用具の準備が出来ていない。	制作に対してやる気が感じられない。描く頻度が少ない。画材の準備が全く出来ていない。
到達目標 B 「作品構想と計画力」	課題の意図を良く理解し、構想を立てることが出来る。プロセスを経て作品を完成させられる。	課題の意図を理解している。複数のアイデアから作品を完成させることが出来る。	課題に対して複数のアイデアを出すことが出来るが、計画性が足りず作品が完成しないことがある。	課題に対しての理解が足りない。アイデアが出ないことがある。作品が完成しないことがある。	課題が理解出来ない。アイデアスケッチが出来ない。時間内に作品が完成しない。
到達目標 C 「画面構成力と空間把握」	モチーフや課題に対して最適な構図を取り、遠近法により、自然な空間を表現出来る。	モチーフや課題に対して、最適な構図を探そうとしている。遠近法の表現が不自然なことがある。	モチーフや課題に対して、構図の取り方が適していない。透視図法を充分に理解していない。	モチーフや課題に対して、構図の意識が乏しい。遠近感について、表現出来ない。	画面枠と構図という意識が無い。遠近法について理解が出来ていない。
到達目標 D 「観察力と表現力」	モチーフの構造とプロポーション・質感を良く観察し、力強く自然に表現出来る。	モチーフの構造とプロポーション、質感を観察しようとしている。	モチーフの構造やプロポーションの観察が不足している。形が不自然になることがある。	モチーフの構造やプロポーションの観察が著しく不足している。つねに形が不自然になる。	モチーフについて、興味が足りない。観察し比較するという意識が足りない。
到達目標 E 「創造性とオリジナリティ」	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試み、客観性と説得力のある作品を完成させられる。	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試みる。作品は客観性が欠けることがある。	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試みる。課題の意図から外れてしまうことがある。	課題を強引に独自の解釈や表現で制作しようと試みる。作品に客観性が乏しい。	作品に独自性を求める気持ちが乏しい。新しい表現への意欲が少ない。

【教科書】

毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題50%完成した企画の完成度について評価する。
平常点　　50%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	デッサン４	年度	2026
英語表記	Drawing 4	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	静物デッサン②	モチーフをしっかり描き込み、空間・質感を表現する	1	作品の構想を練る	モチーフから完成の構想が決められる	2	
			2	エスキースを描く	エスキースをもとに構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
2	静物デッサン②	モチーフをしっかり描き込み、空間・質感を表現する	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、質感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
3	卓上構成デッサン②	モチーフを組み合わせ、それぞれの関係と空間を表現する。	1	作品の構想を練る	モチーフの扱い、関係を考えられる	2	
			2	エスキースを描く	エスキースをもとに構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
4	卓上構成デッサン②	モチーフを組み合わせ、それぞれの関係と空間を表現する。	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、質感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
5	石膏デッサン②	セットされた石膏像（胸像）を観察・表現する。	1	石膏像を観察する	クロッキー（線描）し、多方向から観察出来る	2	
			2	エスキースを描く	クロッキーをもとに構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
6	石膏デッサン②	セットされた石膏像（胸像）を観察・表現する。	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、形態感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
7	有色下地デッサン	彩色された紙にモチーフを光（白コンテ）と陰影（黒コンテ）で描く	1	課題の理解、観察	モチーフを観察しどのように進めるか理解出来る	2	
			2	エスキースを描く	エスキースをもとに構図を決めることが出来る		
			3	画面に描き出す	モチーフの光と陰影を的確に捉えられる		
8	有色下地デッサン	彩色された紙にモチーフを光（白コンテ）と陰影（黒コンテ）で描く	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	形態感と光と陰影がしっかり表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
9	構成デッサン②	手の動きと折り紙の関係を表現する	1	作品の構想を練る	手とモチーフの関係を決め構図を考えられる	2	
			2	エスキースを描く	エスキースにより自然な手の形を観察出来る		
			3	画面に描き出す	構図のバランスに注意して描き出せる		
10	構成デッサン②	手の動きと折り紙の関係を表現する	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、モチーフを表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
11	人体デッサン（ヌードモデル）	人体の構造とプロポーション、動きをモデルを観察して表現する	1	モデルを観察する	繰り返しクロッキーし、モデルを観察出来る	2	
			2	エスキースを描く	構図に配慮しながらモデルを観察出来る		
			3	画面に描き出す	自然なプロポーションで描き出せる		
12	人体デッサン（ヌードモデル）	人体の構造とプロポーション、動きをモデルを観察して表現する	1	比較検証、修正	作品とモデルを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、骨格や細部まで表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
13	写真模写（自画像）	自分で撮影した写真を、鉛筆で可能な限りリアルに写しとる	1	写真を撮影する	最適な光、背景で撮影出来る	2	
			2	写真を決定する	最適な写真を選び完成がイメージ出来る		
			3	画面にトレースする	写真の情報を過不足なく画面にトレース出来る		
14	写真模写（自画像）	自分で撮影した写真を、鉛筆で可能な限りリアルに写しとる	1	明度計画を立てる	一番暗い部分など明度の段階を決め制作出来る	2	
			2	鉛筆で部分を描く①	作品のメインの部分を描き切ることが出来る		
			3	鉛筆で部分を描く②	作品のその他の部分を描き切ることが出来る		
15	写真模写（自画像）	自分で撮影した写真を、鉛筆で可能な限りリアルに写しとる	1	比較検証、修正	写真と比較して修正出来る	2	
			2	鉛筆で部分を描く③	表現の不足している部分に加筆出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等　指定の実習室・教室で受講する。